

農地利用最適化推進委員 応募中間公表（令和6年4月30日現在）

番号	地区	氏名	年齢	性別	職業	主な履歴等	農業経営 の状況	認定農業 者等の別	応募理由
1	中央	戸賀崎 邦雄	72	男	農業	・杉戸町農業委員会委員 ・杉戸町環境審議会委員 ・杉戸地域農業再生協議会委員 ・埼玉みずほ農協杉戸稲作研究会会長	水稻	認定あり	杉戸地域農業再生協議会委員として、地域農業の振興を図っている。よって、耕作放棄地の解消や遊休農地の有効活用を図るべく、地権者に対する相談や指導助言を行っていきたい。
2	南	岩浪 一宏	68	男	農業	・昭和61年から農業に従事 ・春日部市役所退職後に農業専業 ・元 第30区長代理	水稻 露地野菜	認定あり	近年、農業は農業従事者の高齢化や相続等により不耕作農地の増加や不適正な農地転用、農家組合の衰退により用排水路の悪化など様々な問題が生じています。 私は、これまでの農地利用最適化推進委員の経験を活かし、こうした問題を抱える者や行政と一緒に、遊休農地の発生防止に向けた農地利用の最適化に微力ながら協力・活動したいと思い応募しました。
3	南	高野 清美	61	女	農業	・令和3年9月から農地利用最適化推進委員	水稻 露地野菜	認定なし	担い手問題、農地の集積、耕作放棄地等の多くの問題があることを知り、微力ではありますが活動していきたいと思い応募しました。
4	東	石塚 正弘	68	男	農業	・24区区長代理 ・広戸沼支部農家組合支部長 ・昭和61年から農業に従事 ・令和3年9月より農地利用最適化推進委員	水稻 露地野菜	認定あり	令和3年より農地利用最適化推進委員として活動しており、今後もこの経験をもとに農業委員会活動を継続していき、地域の農地利用活動のために尽力したいと考えたため応募することとした。